

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Linoぶれいす吹田		
○保護者評価実施期間	2025年 9月 1日 ~ 2025年 9月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年10月1日 ~ 2025年10月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 1日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが自由に体を動かせるスペースが確保されている。	危険個所のスタッフ間での周知、危険個所に保護材をつけ安全対策をしている。	事業所内での定期的に保護している箇所の点検を行い修繕していく。
2	個人情報の取扱いに十分に留意されている	写真や個人情報の取り扱いについて、使用許可を通じて必要最低限にとどめている。	事業所内での個人情報の取り扱いに関して、リスクがある部分をピックアップし、都度改善をしていく。
3	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	情報伝達に関しては、保護者様が連絡を受けやすい体制(LINEや電話等)を整えている。	今の情報伝達で問題が無いか等、アンケートを取り、より良い環境整備を心掛ける。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所での避難訓練は行っているが、保護者への取り組みの周知ができていない	取り組んではいるが、保護者への周知が足りていない	定期的に行う避難訓練などは配布している月間のスケジュールの中に組み込み、保護者へ周知する
2	新1年生の児童を児童発達事業所より紹介してもらっているが、しっかり連携がとれていない	紹介児童の情報共有、周知できていない	・紹介時のみならず、定期的に連絡をとり情報共有をしていく ・紹介児童が利用に至った場合、児発での様子など詳しく聞き取りをする機会を設ける
3	家族に対しての家族支援プログラム（ペアトレ）や家族も参加できる研修会など行っていない	家族支援プログラムの認識不足	事業所で家族支援プログラムなどの研修に参加、勉強会の機会を設ける